

令和 5 年  
第 2 回大仙市議会定例会

# 一 般 質 問

( 令和 5 年 6 月 8 日 ・ 9 日 )

大 仙 市 議 会

## 【 一 般 質 問 者 】

### ◆6月8日（木）

- ① 秩 父 博 樹 議員（公明党）
- ② 高 橋 徳 久 議員（だいせんの会）
- ③ 戸 嶋 貴美子 議員（だいせんの会）
- ④ 佐 藤 隆 盛 議員（市民クラブ）
- ⑤ 石 塚 柏 議員（だいせんの会）

### ◆6月9日（金）

- ① 山 谷 喜 元 議員（大地の会）
- ② 挽 野 利 恵 議員（公明党）
- ③ 佐 藤 文 子 議員（日本共産党）

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	誰もが投票しやすい環境づくりについて	① 「投票支援カード」及び「コミュニケーションボード」を導入してはいかがか。
2	熱中症対策の推進について	① 熱中症対応マニュアル等の作成や WBGT(暑さ指数)の認知度向上や行動変容につながる情報発信も必要と考えるがいかがか。 ② 高齢者への効果的な熱中症予防を進めるために、介護や地域保健部門の関係者と連携し、どのような取り組みを進めているのか伺う。 ③ エアコンの整備や点検の推進に向け、積極的な勧奨も必要と思うがいかがか。 ④ 熱中症特別警戒情報が発令された時に、躊躇なくエアコンのスイッチを活用できる環境の整備も必要と思う。電気代の高騰への対応も含めて、低所得者等に対して、適切な支援が必要と考えるがいかがか。 ⑤ 小中学校等の普通教室への空調設置率はどのようになっているのか、空調施設を活用するための電気代の手当は十分か、併せて、ボトルフィルターの設置も有効と考えるがいかがか。また、通学時の熱中症対策はどのような取り組みがなされているのか、熱中症警戒情報が発令された場合どのように対応して行くのか伺う。
3	視覚障がい者への支援について	① 暗所視支援眼鏡を購入費助成の対象とすべきと考えるがいかがか。 ② 公的通知に音声コードを付与してはいかがか。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和5年5月24日

大仙市議会議員 秩 父 博 樹

大仙市議会議長 後 藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	大仙市のシンボル花・木・鳥 に続く制定について	① 大仙市の魚に、サケを制定してはいかがか。
2	外国人の就労について	① 市内の外国人の就労の実態について伺う。 ② 外国の方々に対して、市ではどのような対応・手当をしているのか伺う。 ③ 市と雇用主、雇用主同士の情報交換の場があるのか伺う。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和5年5月26日

大仙市議会議員 高橋 徳久

大仙市議会議長 後藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	市当局の相談窓口対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 面談の個室化</li> <li>② 相談者のワンストップ化</li> <li>③ 専門家が集まる一週間</li> </ul>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和5年5月26日

大仙市議会議員 戸 嶋 貴美子

大仙市議会議長 後 藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	「非核平和宣言都市」である大仙市について	① 先月先進7カ国の首脳が広島に集まり広島サミットが行われた。「核兵器のない世界」に向けた気運の醸成を図るという目的を掲げたが、一言で言って先行きに明るさが確約されたとは言えない状況下にあるのでは。一地方議会の問題としては場違い、あるいは大きすぎると言われるかもしれないが「非核平和宣言都市」として、それを大切にして今日まで来た。市長の今の心境を伺う。
2	一般質問答弁への対応・状況について	① 答弁の末に「前向きに」「今後、検討してまいりたい」「努めてまいりたいと考えている」「検討してまいりたいというふうに考えております」などの答弁もいただいているが、議会閉会后、どう対応し、どのような状況になっているのか、伺う。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和5年5月31日

大仙市議会議員 佐藤 隆 盛

大仙市議会議長 後藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	D X推進ビジョンと生成A Iについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 総務省のガバメントクラウドに全国の地方自治体の全ての基幹業務が集約されるが、セキュリティは万全か。</li> <li>② D Xの推進で生ずる財政面への貢献の中身について。</li> <li>③ D Xの推進で行政効率が上がり、余剰人員が生じた場合、その人員はどう扱われるのか。</li> <li>④ 大仙市教育委員会は、市長部局で進めているD X推進ビジョンに、どのように関わりあっていけるのか。</li> <li>⑤ 生成A Iは、行政と教育の分野で、その影響と効果が大きいと言われている。市と教育委員会では、生成A Iをどう評価されているか。</li> </ul>
2	定員適正化計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 過去、定員適正化計画がありましたが、現在はどのようになっているのでしょうか。また、定員適正化計画の「適正」とは何を指しているのか。</li> <li>② 大仙市で定員の類似団体別職員数を比較した場合、第1次・第2次の定員適正化計画では、他の類似団体より職員数が多い。今後、どの程度の職員数を考えながら採用数を決めていくのか。</li> <li>③ D Xの識者は、将来において現在の職員数を半数にすべきと指摘する。D Xで効率化が出来ても法律上、減員は出来ない。採用数の抑制だけでは人事の運営に歪みが生ずる。一方、定年の延長で増員の圧力がかかる。この難題をどうされるのか、伺う。</li> <li>④ 定年に近い世代と中堅職員の育成が大切と考えるが「学び直し」を含めて、どう人を育てていくお考えなのか、伺う。</li> </ul>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和5年5月31日

大仙市議会議員 石 塚 柏

大仙市議会議長 後 藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	令和5年中学生議会での中学生の提案に対する市としての具体的な取り組みについて	① 今年1月に開催された中学生議会では多くの貴重な提案がなされた。中学生の地域を思う気持ちがよく伝わり、これからこの地域を担っていく若者に頼もしさを感じたところであるが、市として改めて予算化をするなど、応援している姿勢を見せることが必要と思うが、当局の考えを伺う。
2	働き方改革（新人職員へのサポート）について	① 令和5年度定期人事異動では主事の退職が多いことに驚くとともに憂慮している。直近10年の間に採用から10年以内に退職した職員の人数は年毎に何人か。原因を分析してその対策はとっているのか。また、メンター制度を導入する考えはないのか。当局の考えを伺う。

答弁を求めるもの      市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和5年6月1日

大仙市議会議員    山 谷 喜 元

大仙市議会議長    後 藤    健    様



## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 不登校児童生徒が学びたいと思った時に学べる環境の整備について</li> <li>② 不登校児童生徒の保護者への支援について</li> <li>③ 早期発見・早期支援のための福祉部局と教育委員会との連携強化について</li> </ul>
2	重層的支援体制整備事業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 支援会議と重層的支援会議について</li> <li>② 多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、参加支援事業について</li> </ul>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和5年6月1日

大仙市議会議員 挽 野 利 恵

大仙市議会議長 後 藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	自転車ヘルメット着用の啓発と支援について	① 啓発・支援体制の構築について ② 高齢者への自転車ヘルメット購入助成について
2	花火事業について	① 花火出品業者宿泊施設・大会管理運営施設建設に対する市民の声・疑問に市長は、どう答える。 ② 花火大会運営における市と商工会議所の関係性について

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和5年6月1日

大仙市議会議員 佐藤文子

大仙市議会議長 後藤 健 様